

広報

リクベツ

- ◇町政執行方針
- ◇教育行政執行方針
- ◇ふるさと銀河線からバスへバトンタッチ



銀河線を最後の走行
JRのお座敷列車が銀河線を走った

2006

no.541

平成18年度 町政執行方針

平成18年陸別町議会3月定例会の開会にあたり、町政執行の所信を申し上げ、町議会の皆さん、町民の皆さんに、町政全般へのさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

私は、平成17年度を町の行財政改革元年と位置づけ、まちづくりを推進して参りました。しかしながら、国は今日までの多額な国債の発行により、財政悪化は益々深刻な状況で推移しています。この要因に連動して、国民負担は増加し、地方財政への投資抑制により町も厳しい運営を強いられています。

大都市圏の一部での景気は上昇していると言われますが、第一次産業を基盤とする地域、さらに当町のような人口の少ない地域における活性化の兆しは見られない状況にあります。

昨年、町の老舗企業の整理等に見られるように、当町の経済活動を取り巻く環境は以前に増して深刻化しています。この町の厳しい現状を、住民の皆さんとの総意の基に克服するための

新たな施策の展開が最大の課題と認識して、町政を推進して参りました。

私は、陸別の将来への課題に向け、町内の民間各団体と、将来への雇用の創造・新たな生産事業体の創造への取り組みについて協議を重ねてきました。この協議により、行政と民間がその利点を有機的に発揮して、町の危機への克服に立ち向かう認識の共有は高まったと考えています。

この間の協議で見いだした陸別町の将来への活性化事業の7件について、慎重な調査と研究を更に協働で追求し、実現の可能性が確認されたプロジェクトから行政と町民の総力によるスタートをめざします。

また、今後更なる活性化事業の発掘についても協議・検討を推進して参ります。

平成17年度から平成26年度までの10年間を計画期間とした「陸別町自立推進プラン」を策定し、財政健全化を取り組んでいるところですが、この改革を進めていくために

は、役場庁舎内から率先して改革を行うことは当然でありますが、今後更に町民の皆さんの改革へのご理解とご協力をお願いいたします。

平成18年度予算歳入の大部分を占める地方交付税について、現在までに得られている情報では、国の交付税総額が前年比5・9%、9,900億円の減となっており、自治体への投資的経費の抑制など歳出削減が更に国から要求されており、

当予算では、2005年国勢調査での人口減などの要因も含め、平成17年度確定額より9・8%、1億9,400万円を減額して17億9,700万円の計上いたしました。

臨時財政対策債については、前年度確定見込額の1億7,840万円から1,840万円減額(10・3%)し1億6,000万円を計上いたしました。

したがって、2億円の減債基金をはじめ合計で2億9,100万円の基金を取り崩して収支のバランスを保ったところであり、

平成19年度以降更に厳しいものとなることが予想されますが、私が就任以来取り組んでまいりました「優しさのある町」、「活力のあるまち」、「創造していくまち」、この三つを基本姿勢として、町民の皆さんが元気でいきいきと安心して生活できる環境づくりに今後も誠心誠意努力していく所存であります。

以上が、平成18年度において私が特に重点的に取り組んで参りたい基本的な考え方の説明でございます。

続きまして、新年度予算案に盛り込みました事業のうち、主なもの、あるいは特徴的なものについて、その方針を説明申し上げます。

総務

務費関係の事業について説明いたします。

町有林事業につきましては、平成16年台風18号による前年施業の被害木整理跡地へ、植栽事業として26・44畝は森林災害復旧造林事業、3・16畝は森林環境保全事業の補助事業としての予算を計上いたしました。



ふ

るさと銀河線についてであります。

平成18年4月20日のでふるさと銀河線の運行が廃止されます。廃止についてはたいへん残念な結果となりました。

今後、町民の足を守るべく、代替バス運行に向けた協議が進められてきました。平成18年4月21日からスタートするバス転換につきましても、一定以上の利用が確保されなければ、バスダイヤの間引きや沿線市町負担が多大となり、銀河線が歩んだ廃止の道へ進むことも予想されます。そのようなことにならないよう、バス利用拡大に向けた必要経費を計上いたしました。次に民間活用住宅建設事業であります。

平成16年度からの助成事業であります。新年度においても引き続き所要の予算を計上いたしました。

新

たな地域活性化事業についてであります。

この事業スタートへの諸条件が整った次の2件の事業について、必要な経費を計上いたしました。

1つ目は、陸別町野菜振興事業であります。陸別町野菜振興会は、平成18年度より陸別の寒暖差を活かした、他地域と差別化したアスパラ栽培5鈴を計画しています。この事業は、近年増加が見込まれる遊休農地の利用と当町の余剰堆肥を大量に有効利用できる、陸別町の地域特性を活かした事業であります。今後は異業種参入や町民参加による栽培事業の拡大と産地化を目指します。

2つ目は、コテージ村の整備についてであります。民間所有者の貸しコテージとして、2棟の増棟を目指し建設者への補助金に係る経費を計上いたしました。

更に地域活性化事業の推進のため、まちづくり委員会への事業調査費と町担当者による事業調査費を計上しております。

ラ

コーム町姉妹提携20周年記念事業についてであります。

昭和61年の姉妹友好提携調印以来、お互いに交流を深めなが

ら20年が経過しました。その記念すべき年に、ラコーム町において北海道・アルバータ州姉妹都市連絡会議が開催されます。

この会議に町から参加する関係者の必要な経費を計上いたしました。



民

生費関係について説明いたします。

高齢者等交通費助成事業は、平成16年度より実施している事業であります。高齢者や身体障害者の方々への外出機会の増による生活圏の拡大と、福祉の増進が図られるため、ハイヤー利用助成に取り組んでいますが、当初計画の見込みを上回る利用実績となっております。引き続き所要の経費を計上いたしました。衛生費関係について説明いたします。

し

尿処理施設の設置及び管理運営につきましては、

池北三町行政事務組合で行ってききましたが、施設の老朽化に伴い平成18年4月1日より十勝環境複合事務組合に加入し、帯広の処理施設において十勝全域での共同処理をしていくこととなり、必要な経費を計上いたしました。

農

業関係について申し上げます。

今日の酪農を取り巻く情勢として、平成17年度の牛乳消費量の減少と乳量生産量の伸びにより、北海道内で平成17年度分1万トンの生産調整を平成18年3月の1月間で実施します。更に平成18年4月から3年間生産調整にはいります。当町の酪農は、近年大型化を目指すための投資を行ってきていますので、この削減は陸別の基幹産業の酪農にとって大きな打撃であります。

町として、牛乳消費拡大への取り組みの推進に寄与していく所存で臨みます。

平成17年度の搾乳農家は現在67戸と減少しています。今後この減少傾向は予想されます。したがって、搾乳の生産調整から除外される新農業者育成事業の積極的推進と既設酪農ヘルパー事業は、重要な課題と位置付けて継続して進めて参ります。資源リサイクル事業は、平成

18年度をもって終了の予定でありましたが、町内の草地整備、暗渠排水整備事業推進のため、平成20年度まで延長することといたしました。

トラリ営農用水は、源水の濁水と雨天時の汚濁により、供給の水の水质と水量に著しい支障をきたしております。その対策として、新しい良質な源水確保のため、本年度試験の井戸(100m)を掘削するための必要な経費を計上いたしました。



林

業関係であります。

民有林造林の促進につきましては、21世紀北の森づくり推進事業と町単独事業の民有林造林促進事業に所要の経費を計上し、森林所有者への造林事業の積極的推進を進めてまいります。

林道整備事業については、道補助事業で弥生敷別線、ボントム川沿線の改良工事に所要の経費を計上いたしました。

商

工費関係につきまして説明申し上げます。

人口減や近隣都市部の大型店への購買の流失により、商工業を取り巻く環境は以前より極めて厳しい状況にあります。その打開策として、町と産業関係団体との連携協議による地域活性化事業の積極的取り組みにより、新たな企業創造と雇用の確保を図る施策展開を進めて参ります。

イ

ベント関係について申し上げます。

昨年、一昨年に引き続き日本において開催されたWRC(世界ラリー選手権大会)が、陸別会場を含めた十勝を舞台に行われ、全国からかつてないほど大勢の人たちが当町へ訪れたこととはたいへん喜ばしいことでもあります。関連予算を計上いたしました。

関係各位の協力のもと、平成19年度以降もこの大会が定着していくよう働きかけをしていきます。

平成18年2月4日、5日に開催されました第25回しばれフェスティバルは、多くの集客を得て大成功を取められ関係者の皆さんに心から感謝申し上げます。

このイベントは、陸別の次世代の担い手が、陸別への熱い想

いを土台とした情熱で、近年多くの仲間を結集しイベントの企画運営がされています。このパークは必ず陸別の未来へ寄与します。このイベントに来場された皆さんと多くの出会いがあり、陸別が全国に発信されることは、町にとって大きな財産です。ぜひ今後も関係者の創意工夫で続けていただくよう、所要の予算を計上いたしました。

土

木関係について申し上げます。平成19年度事業着手を目指すまちづくり交付金事業（道路関係）の計画策定の予算を計上いたしました。当事業は、新町からの通学路、町道共栄線の歩道整備を主とした事業であります。町道の維持補修、道路改良につきましても、継続事業を軸として緊急度を十分勘案し所要の予算を計上いたしました。なお、主な事業実施予定箇所は次のとおりであります。

- 若葉1号線道路改良―幅員5・5m（片2・5m）／延長150m
- 東1条通り舗装・交通安全施設整備―幅員5・5m（両3・5m）／延長390m
- 新町4号通り交通安全施設整備―歩道拡幅（片2・5

- m）／延長90m
- 東3条1号支線道路改良―幅員4・0m／延長60m
- トマム原野支線舗装―幅員4・0m／下斗溝側延長200m（平成19年度弥生側延長465m）

次に、平成18年度から事業着手いたします地域住宅交付金事業であります。新町団地の公営住宅10棟40戸と町営住宅2棟4戸を解体し、跡地へ特定公共賃貸住宅8戸の建設と、宅地分譲地6戸の造成の全計画のうち、平成18年度は、新町団地の公営住宅6棟24戸解体の経費を計上いたしました。



教

育関係につきまして、教育委員会の意向に基づき所要の予算を計上いたしました。スクールバスの運行は、新たに殖産トラリ線を追加し、3路線を委託いたしました。

特

別会計関係、国民健康保険事業勘定について申し

上げます。

一般被保険者の1人あたりの医療費が、平成15年度全道11番目から平成16年度は3番目となり、平成18年度における「安定化計画指定市町村」となりました。平成18年度は一般被保険者医療費を前年見込みより減の計上としましたが、一般会計からの繰り入れと国民健康保険基金からの600万円を繰り入れることで、一般会計の収支バランスを保ちました。今後、医療費の抑制に係る保健事業の強化推進に努めて参ります。

次に、直営診療施設勘定関係であります。元気なまちをめざすためには、町民が元気でなくてはなりません。そのためにも、町民からより一層信頼される診療所をめざすことを基本理念としての運営を図って参ります。簡易水道事業並びに公共下水道事業関係について申し上げます。簡易水道につきましては、平成19年度の2力年での完了をめざします。

下水道につきましては、普及率の増加について積極的に推進を進めて参ります。デイスボーザーにつきましては、導入への諸条件の整理を図り、年度内導入をめざします。

介

護保険事業勘定関係について申し上げます。平成18年度の制度改正を見据え、介護給付の適正化を保ちながら、利用者の方々が安心して介護サービスを提供に努力して参りたいと存じます。

平

成12年4月、「地方分権一括法」の施行以前は、地方自治のその大部分が補助金や国からの各種通知、通達など、中央集権による地方自治でありました。従って、地方自治の担い手は国であったと言えます。それが、「地方分権一括法」制定後、国の関与が減り地方自治体の自由度が増え、担い手も国から地方自治体に替わりました。しかし、この地方分権が進むに従って課題が残されています。

1つは、分権といっても、何を分権するかがいまだ国が決められています。もう1つは、分権の担い手が地方自治体（行政）で止まっている現状であります。地方には自治体（行政）のほか、一人一人の住民や農業、林業、商工業など各種の経済・産業団体、更にボランティア団体、NPO、町内会など、地域に住む人々と団体など全てが分権の担い手であり主権者であります。

これからの地方自治は、地域

主権による地方自治に替わらなければなりません。その担い手は地域全体であります。

今後私は、この地域主権によるまちづくりを基本理念として、町政の執行にあたります。そのためには職員の自治意識の高揚を図り、町民ニーズを的確に捉えられる組織強化をめざし、町民の皆さんの積極的参加を求め、意見を大切にした協働のまちづくりを進めて参ります。

我が陸別は、地方交付税の削減、国の制度改正による町の負担増、北海道の財政立て直しプランによる町村への負担転嫁などにより、町財政の先行きは益々厳しい状況にあります。

今年度は私の任期、最後の年度であります。この難局を乗り切り、限られた陸別の産業の振興と町民の生活基盤の安全確保されたまちづくりへ、職員と想いの共有を図り、職員とともに全力をあげて責務を遂行する所存であります。

以上が、3月定例議会にあたりましての所信であります。議会並びに町民の皆様の一層のご理解と協働のご支援を心からお願い申し上げます。平成18年度の町政執行方針といたします。

平成18年度 教育行政執行方針

平成18年度の教育関係予算を「ご審議いただくにあたり、教育行政推進の重点を申し上げ、町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと思います。」

21世紀も6年目を迎えた今日は、社会の変化に主体的に対応し、心豊かに学び、新しい時代を力強く切り拓いていく人づくりが求められております。

中央教育審議会は、平成17年10月「新しい時代の義務教育を創造する」という答申を取りまとめ国に提出いたしました。今後は、この答申に基づき様々な教育改革が進められていくものと思えます。

こうした状況を踏まえながら、町民の誰もが、いつでも、どこでも、自由に学ぶことができ、心の豊かさや生きがいを持つて生活することのできる生涯学習社会の構築を推進するとともに、学校、家庭、地域社会の連携をより一層推進し、地域の子どもは地域で育てる意識の醸成を図ります。

そのため教育委員会といたしましては、「家庭は温かく」「学校は楽しく」「地域は明るく」を合言葉にして、本町の恵まれた豊かな自然や地域の特性を生かした教育行政の推進に努力してまいります。

以下、平成18年度の主要な施策の概要について申し上げます。

その1 「学校教育の推進」

「確かな学力の向上」「豊かな心と健やかな体の育成」「信頼される学校づくりの推進」を重点として取り組んでまいります。

一点目の「確かな学力の向上」についてであります。

子どもたちに基礎・基本をしっかり身に付けさせ、自ら学び自ら考える力などの確かな学力を育むことが最も重要な課題であります。

陸別小学校での毎日の「朝学習」や、陸別中学校での選択教科の中で苦手な教科を克服する「チャレンジタイム」は、基礎学力の定着を図るために大切な

学習でありますので、継続しながら指導内容の充実を図ってまいります。

二点目の「豊かな心と健やかな体の育成」についてであります。

相手を思いやる心、互いを認め合いともに生きていく態度、自他の生命や人権を尊重する心、美しいものに感動する心など、豊かな人間性や社会性を育むことが大切であります。

そのため、子ども一人ひとりが自分自身や未来を見つめ、人間として必要な道徳性を養うた



めに、道徳教育の補助教材として文部科学省が作成した「心のノート」の計画的な活用を図り、

子どもの心に寄り添った指導や心に響く「道徳の時間」のさらなる充実に努め、併せて社会奉仕活動などを実践してまいります。

また、読書は子どもたちに豊かな感性や情操、そして思いやりの心を育む上で大切なことから、陸別小学校での全校一斉の朝読書を継続しながら充実に図ってまいります。

さらに「健やかな体」を育成するために、薬物乱用防止教室の開催や、食に関する指導の充実に努めてまいります。

三点目の「信頼される学校づくりの推進」についてであります。

教育は、子どもたちへの深い愛情と、学校、家庭、地域相互の信頼のもとに、地域社会全体が子どもたちの成長を願ひ協力し合って行われることが大切であります。

そのためには、校長のリーダーシップのもと教職員が一致協力して、保護者や地域住民から

の強い信頼と協力を得ながら、教育活動に取り組んでいかなければなりません。

各学校では、学校だよりや地域開放参観日、ホームページの開設、保護者等へのアンケート調査を実施し、結果の分析及び公表を通して、その思いや願ひに応える授業づくり、学校づくりを進めてきているところであり

ます。これからも、各学校の教育活動や学校運営の状況について保護者や地域の方々に対し、積極的に情報を提供しながら、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進してまいります。

さらには、直接子どもの教育を担う教員の資質は、教育の成否を左右するものでありますから、校内における組織的な研修・研究活動を充実するほか、十勝教育研修センター研修講座等への参加、教育局指導主事の活用などを図りながら、資質向上に向けて取り組んでまいります。

また、教職員の服務規律の保持につきましても、機会あるごとに注意を喚起し、交通違反やわいせつ事故などの信用失墜行為の未然防止について指導の徹底に努めてまいります。

次に、特色ある教育活動といたしましては、昨年度に引き続

き、「小中学校連携教育推進事業」を実施してまいります。

小中学校連携教育推進事業については、昨年度十勝管内教育委員会連絡協議会の地域指定を受けて、研究実践を推進してまいりました。

これは研究主題「学ぶ意欲を高め確かな学力を育む特色ある教育活動についての研究」を共有化し、さらに副主題として陸別小学校は「学ぶ楽しさを味わい、確実に基礎・基本を身に付けた子どもを育てる」とし、陸別中学校は「わかる授業を通して意欲的に学ぶ生徒の育成を図る」として、研究を実践してきております。

今年度も引き続き、学びの連続性や接続の円滑化を図り、児童生徒理解を深め、学習指導や生徒指導、学校運営の改善を図る研究を実践しながら、小中連携しての研究会を開催してまいります。

次に、児童生徒の安全確保についてであります。

登下校時における児童生徒の安全確保については、日頃の児童生徒に対する指導をはじめとして、「通学路の再確認」や「通学路安全マップの作成」「安全教室」を開催して指導の徹底を図っております。

また、地域の各事業所や、通

学路周辺の商店や住民などに対しても児童生徒の安全確保について、協力依頼をしてきているところでもあります。

今後とも地域の大人の目でも子どもたちを見守り、各関係機関と情報の共有化を図りながら、安全確保に努めてまいります。

次に、学校施設の整備についてであります。

陸別小学校校舎の老朽化に伴い、学習環境の向上が求められていましたが、今年度は、普通教室6教室分の床改修を実施する予算を計上いたしました。

陸別中学校においては、体育館東側カーテンが太陽光照射による劣化のため、その補修を行う予算を計上し、運動施設としての機能の保持に努めてまいります。



次に、教職員住宅の整備についてであります。

かねてから要望のありました老朽化した物置の更新については、年度計画で整備を進め、今年度は7棟分の予算を計上いたしました。

また、小破修繕には、即対応できるように予算措置をしたところであります。

なお、教職員住宅の使用料につきましては、自立推進プランにより、受益者負担の適正化に努めるため、値上げの見直しをしたところであります。

なにとぞ事情ご賢察の上ご理解賜りますようお願いいたします。

陸別中学校が今年度十勝管内進路指導研究会の会場校となっておりまして、大会運営に協力してまいります。

その2

は「社会教育の推進」であります。

今日の少子・高齢化の進行や、国際・情報化の進展の中、ライフスタイルの変化や価値観の多様化、さらに生活水準の向上や自由時間の増大により、生涯を通して健康で生きがいのある人生を過ごすことが求められています。

そのために、人生の各年代において健康で文化的な生活が営

めるよう、住民ニーズを的確にとらえ、学習やスポーツ、文化に親しむ機会の提供など社会教育の推進に努めてまいります。

具体的には、家庭教育学級、幼児さんタイム、わくわく体験教室、ことぶき学級、社会教育講座などを引き続き実施してまいります。

また、ボランティアで運営されています「放課後遊びを楽しむ会」の支援を継続してまいります。

陸別町独自の子どもたちへの素晴らしい体験事業として、小学生段階で平成13年度から実施している「冒険体感inとうきよう派遣事業」は、都市圏との学校間交流や都市機能が実感できる体験事業であります。

また、中学生段階で平成4年度から実施をしているカナダ・アルバータ州・ラコーム町への「中学生等海外研修派遣事業」は、国際化時代に対応した貴重な体験ができる事業であります。

子どもたちの体験は、豊かな人間性や社会性を育てる源泉でもあります。このように、この二つの事業は、子どもたちに感動と実感を与える素晴らしい体験事業でありますので、これからも町部局と密接な連携を取りながら進めてまいります。

その3

は、「文化の振興」であります。

文化は、人々に感動や生きる喜びをもたらす、豊かな人生を送る上で大きな力になるものがあります。

このため、文化団体が行う自主的な文化活動への支援や、文化祭の開催など、文化協会と連携を図りながら進めてまいります。

ふるさと劇場は、町民に優れた芸術文化の鑑賞の機会提供に努め、平成元年度に活動を開始してから昨年度まで74回の各種公演を開催してまいりました。

今後とも、会員の皆様と一緒に、いろいろな工夫をしながら、鑑賞機会の提供や運営協力に努めてまいります。

次に、公民館施設の整備についてであります。

公民館は、町民のための学びの場でもあります。

図書をはじめとして視聴覚資料等町民の皆様が、自ら学べる環境を整えるべく努力しているところでもあります。

今年度は、図書の貸し出しにおいて、現行の3冊1週間を3冊2週間にしてまいりたいと思っております。

また、学校図書との連携により、児童生徒向けの図書の充実も図っていく所存であります。

講堂、研修室等につきましたも、利用者の利便性を図るため、今年度はパソコンを接続できるビデオプロジェクト購入の予算を計上いたしました。

これにより、より充実した会議や研修の開催に寄与することができるところであります。



その4

は「文化財の整備」であります。

文化財につきましては、過去の歴史・文化の理解に重要であり、現在そして未来の文化発展の基礎となるものであります。

本町には、関寛齋や国史跡等の文化財が多く保存されており、諸先輩の努力や苦勞、足跡で後世に残すべきものに恵まれております。

また、文化財保護法において「文化財を保存し、且つ、その

活用を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献する」と唱われているように、文化財の保存と活用は、現在の我々に課された責務と考えているところであります。

史跡ユクエピラチャシ跡の保存整備事業につきましては、崖面保護工事ののち、平成14年度から国庫補助による整備を継続しております。この間、雨水排水工事等、早期に解決しなければならぬ遺跡保存関係の工事が完了したところであります。

今年度は、環境整備を継続しながら発掘調査報告書を完成させることにより、遺跡の記録保存に係る責務を果たしてまいります。

また、「埋もれた歴史を陸別から発信する」ための次のステップへ進むために、今後ガイダンスに係る整備を環境整備とともに進めてまいります。町の財政状況を見ながら保存整備委員会の指導のもとに事業構想の具体的な見直しを行ってまいります。

「関寛齋」につきましては、陸別に最初の鎌を下ろした人々の一人として開拓の祖にあたるだけでなく、幕末から明治にかけての激動の時代に、医者として、開拓者として、国民一人ひ

とりが差別なく自立できるよう尽力した人物として、まさに今の時代、改めて脚光を浴びている人物といえます。

また、関寛齋を顕彰する関寛齋顕彰会の活動は、平成15年度より毎年行われている白里歌碑建立や昨年の銚子訪問団との交流に見られる広域な活動等、関寛齋の精神を後世に伝える町民主導の重要な活動であると思っております。

関寛齋の開拓者精神とともに、この顕彰活動に敬意を払い、活動に対して支援をしてまいります。



その5

は「スポーツの振興」であります。

明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で、スポーツの

振興は欠かすことができません。

町民一人ひとりが、日常生活の中で積極的にスポーツ活動に親しみ、健康と体力の維持、増進を図っていくことが必要であります。

本町においても、高齢化社会を迎えた今日、町民の健康への自己管理意識が高まり、パークゴルフ、ミニバレー、ウォーキング等が普及し定着しています。

今年度もスポーツの集いや、パークゴルフ大会、ミニバレー大会などの各種大会を引き続き開催してまいります。

なお、今年度から大会参加料を負担していただき、大会運営の充実を図ってまいります。

今年度で第39回目を数える「町民スポーツレク大会」は、町民が一同に会し、スポーツレクリエーションを通じて親睦と融和を図ることを目的として開催してきた伝統のある大会であります。

今年度も自治会を始め、体育連盟のご協力をいただきながら、より多くの町民の皆様に参加していただくよう努力しながら開催してまいります。

なお、今年度は、WRC（世界ラリー選手権大会）の開催の関係で、例年より1週間早い8月20日の開催を予定しております。

体育施設の整備につきましては、旧野外活動施設、いわゆるパーベキューハウスの小さい方は、老朽化が激しいので、今年度は土台を中心に改修工事を実施する予算を計上いたしました。

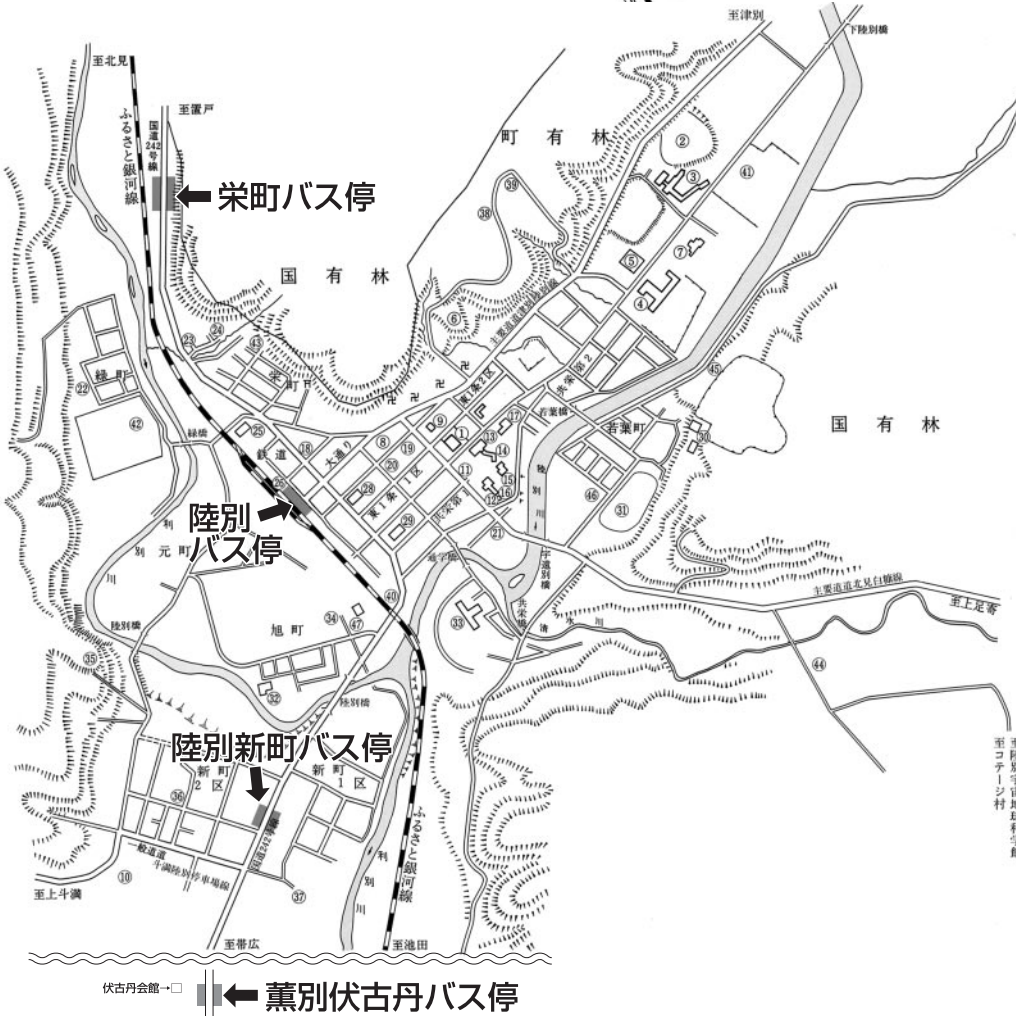
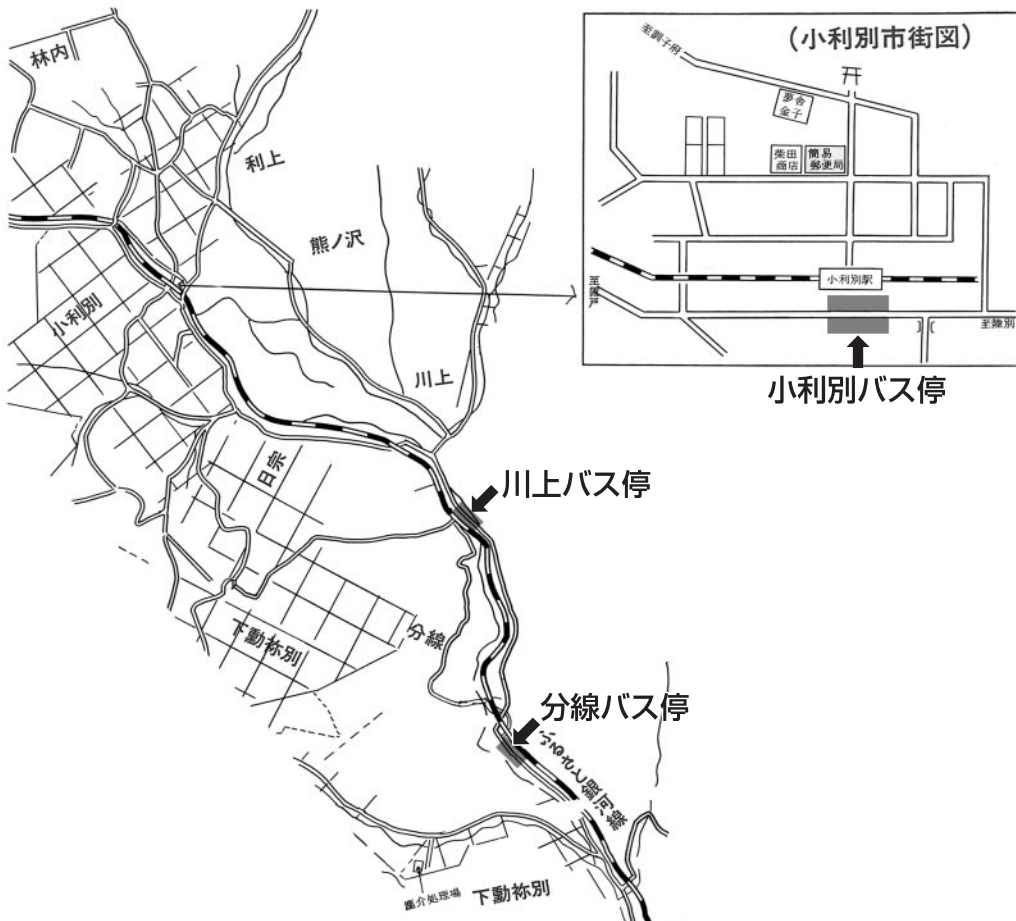
利用者の皆様に快適な環境の中で利用していただくように努めてまいります。

また、体育施設全体の維持管理につきましては、引き続き管理経費の縮減に努めてまいります。

これからも体育指導委員や体育連盟・スポーツ少年団、さらには保健福祉センターとの連携を図りながら、町民一人ひとりが生涯にわたり健康で活力ある生活を営むことができるよう、スポーツ施設の有効活用や、スポーツを楽しむ機会の提供に努めてまいります。

以上、平成18年度の教育行政の主な施策について申し上げます。したが、これからも学校、家庭、地域や各関係機関と連携を深め、理事者との緊密な連携のもとで、職員一丸となって積極的な教育行政を推進し、町民の付託に応えるよう努めてまいります。今後とも町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。教育行政執行方針といたします。

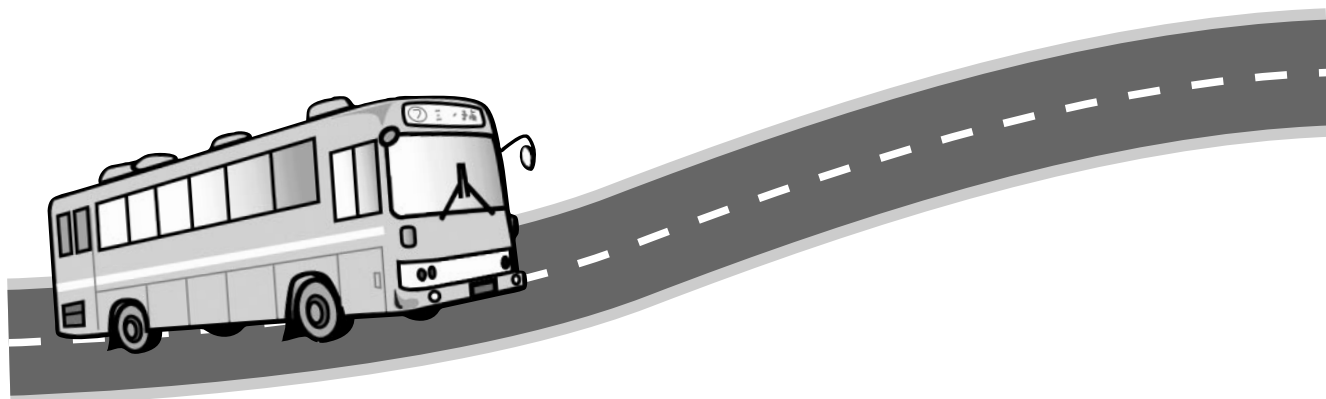
ふるさとと銀河線から バスへバトンタッチ



明治43年網走本線開業から95年間走り続けてきたふるさと銀河線が、4月20日の臨時便を最後に廃止され、21日からは代替バスが運行されます。

北見間は「北海道北見バス」、陸別く帯広間は「十勝バス」がそれぞれ運行されます。陸別町内に設置される予定のバス停と主なダイヤ及び運賃がほぼ決まりましたのでお知らせします。

ふるさと銀河線代替バス主要ダイヤ及び運賃



運賃

陸別	—	5:25	6:25	6:45	10:00	12:00	14:00	15:30	17:00	17:55
足寄	800 ^円	6:11	7:11	7:31	10:46	12:46	14:46	16:16	17:46	18:41
本別	1,200 ^円	6:33	7:33	7:53	11:08	13:08	15:08	16:38	18:08	19:03
池田	1,800 ^円	7:17	8:17	8:37	11:52	13:52	15:52	17:22	18:52	19:47
帯広	2,200 ^円	8:15	9:17	9:35	12:50	14:50	16:50	18:20	19:50	20:45
J R 接続 (池田駅発)		芽室行 7:29	帯広行 8:27	スーパ-おおぞら2号 8:51	帯広行 12:00	スーパ-おおぞら8号 14:36	帯広行 16:10	スーパ-おおぞら10号 17:29	帯広行 19:13	スーパ-おおぞら12号 19:52
J R 接続 (帯広駅発)		スーパ-おおぞら2号 9:07	滝川行 9:20	スーパ-おおぞら4号 10:04	スーパ-おおぞら6号 12:52	スーパ-おおぞら8号 14:53	スーパ-おおぞら10号 17:46	スーパ-とから12号 19:11	スーパ-おおぞら12号 20:13	

※時刻の斜体網掛け部分は、土日祝日運休となります。

運賃

陸別	—	5:51	7:30	10:50	12:55	14:25	16:55	18:10
置戸	770 ^円	6:30	8:09	11:29	13:34	15:04	17:34	18:49
訓子府	1,100 ^円	6:51	8:30	11:49	13:54	15:24	17:54	19:09
上常呂	1,290 ^円	7:05	8:45	12:01	14:06	15:36	18:06	19:21
北見	1,510 ^円	7:30	9:07	12:22	14:27	15:57	18:27	19:42
J R 接続 (北見駅発)		金華行 7:40	旭川行 9:12	遠軽行 13:22			遠軽行 18:54	

〈詳しい時刻、運賃については別途回覧をごらん下さい〉

平成17年度 陸別町教育振興賞表彰

3月21日タウンホールで、平成17年度に陸別町で文化、スポーツの分野で活躍された方に教育振興賞が贈られました。

石橋教育委員長から受賞に先立ち、夢をもち夢の実現に努力してほしいと式辞があり、個人36名、7団体52名が教育長から一人ひとりに賞状が渡されました。(団体の個人名は敬称略)

★文化奨励賞(一般部門)

- 吉見博子さん(共栄第1)
第33回ワールドプレスフラワー協会
コンテスト
優秀賞

★児童生徒文化奨励賞(生徒部門)

- 櫻井絵梨さん(弥生)(陸中2年)
第48回十勝子ども大会
家庭科の部 中文連賞

- 芳賀千咲子さん(元町)(陸中1年)
第36回全道書道コンクール
特別賞
- 高橋圭祐さん(新町1区)(陸中1年)
第37回全国学生書道展覧会
優秀作

- 湯浅遥さん(若葉町)(陸小2年)
第16回北方領土返還意識高揚習字展
択捉島賞(最優秀賞)
- 蝦名修一さん(鉄道)(陸小1年)
第16回北方領土返還意識高揚習字展
択捉島賞(最優秀賞)

★児童生徒文化奨励賞(児童部門)

- 瀧澤世莉華さん(新町2区)(陸中1年)
第33回中学生作文コンクール
入選
- 菅野晃平さん(新町2区)(陸小3年)
第48回十勝子ども大会
書道の部 特選

- 田口桃子さん(東1条2区)(陸小1年)
第16回北方領土返還意識高揚習字展
択捉島賞(最優秀賞)
- 陸別小学校5年A組18名(丹崎礼奈、五十嵐舞子、三浦咲貴、瀧澤ひかる、鈴木広太、依田貴大、加賀谷翔太、坂東孝太、工藤史啓、空井賢斗、佐藤光、久保友紀、星拓輝、瀧澤沙也華、佐藤愛理、湯浅葵、上杉尚也、田口裕望)
平成17年度全十勝小中学校学級学校新聞コンクール学級新聞部門
小学校高学年の部 優秀賞

☆児童生徒文化努力賞(生徒部門)

- 瀧口和平さん(若葉町)(陸中1年)
第48回十勝子ども大会
技術の部 特選
- 中川阿香里さん(新町2区)(陸中2年)
第48回十勝子ども大会
家庭科の部 入選

- 久江沙羅さん(元町)(陸小3年)
第16回北方領土返還意識高揚習字展
択捉島賞(最優秀賞)

☆児童生徒文化努力賞(児童部門)

- 鈴木幹太さん(東1条2区)(陸小3年)
第37回全国学生書道展覧会
特別賞 二席
- 菅野晃寛さん(下斗満)(陸小6年)
第37回全国学生書道展覧会
優秀作



文化奨励賞受賞の吉見さん(右) 今野さん(中央)

- 藤本彩芽さん(東1条2区)(陸中1年)
第33回中学生作文コンクール
入選
- 菊川明寛さん(上斗満)(陸中1年)
第33回中学生作文コンクール
入選

- 坂本隼也さん(新町2区)(陸小3年)
第16回北方領土返還意識高揚習字展
択捉島賞(最優秀賞)

- 佐藤愛理さん(上斗満)(陸小5年)

第16回北方領土返還意識高揚習字展
国後島賞（優秀賞）

○瀧澤亮太さん（大通）（陸小4年）

第16回北方領土返還意識高揚習字展
国後島賞（優秀賞）

○多胡未来さん（上登良利）（陸小4年）

第48回十勝子ども大会
工作の部入選

○佐藤大雅さん（共栄第2）（陸小4年）

第48回十勝子ども大会
書道の部秀作

○梅森也斗さん（新町2区）（陸小4年）

第36回全道書道コンクール
特別賞

○竹島峻登さん（共栄第1）（陸小3年）

第37回全国学生書道展覧会
優秀作

○岩崎智美さん（新町2区）（陸小3年）

第37回全国学生書道展覧会
優秀作

○加賀谷翼さん（共栄第2）（陸小3年）

第37回全国学生書道展覧会
優秀作

○蝦名加奈子さん（鉄道）（陸小3年）

第16回北方領土返還意識高揚習字展
国後島賞（優秀賞）

○加藤竜平さん（新町2区）（陸小3年）
第16回北方領土返還意識高揚習字展
国後島賞（優秀賞）

○菅野紗永さん（下斗満）（陸小3年）

第16回北方領土返還意識高揚習字展
国後島賞（優秀賞）

○瀧口顕仁さん（若葉町）（陸小2年）

第48回十勝子ども大会
工作の部入選

○小南菜月さん（東1条2区）（陸小1年）

第16回北方領土返還意識高揚習字展
国後島賞（優秀賞）

○陸別小学校6年A組3名（阿部遥、井

上智奈都、三好美穂）
平成17年度全十勝小中学校学級学校新

聞コンクール学級新聞部門
小学校高学年の部佳作



スポーツ奨励賞受賞の白取さん

★スポーツ奨励賞（一般部門）

○白取克介さん（緑町）（陸別町パーク
ゴルフ協会）

陸別町パークゴルフ協会の設立に寄与
し、協会の運営・指導に貢献。またし
ばれパークゴルフの基礎を築いた。

○only one（平井均、大井幸

雄、平井久美子、渡辺優美子）
2005陸別オーロラ杯ミニバレー交

流大会
40歳以上の部優勝

★ジュニアスポーツ奨励賞（生徒部門）

○平野絵里奈さん（上斗満）（陸中3年）

第51回全日本中学校通信陸上競技大会
女子100mH、女子四種競技第1位

○白取実希子さん（元町）（陸中3年）

第51回全日本中学校通信陸上競技大会
女子走幅跳第1位

○陸別中学校サッカー部2年生7名（猪

狩大、佐々木涼太、高橋雄斗、谷優太、
正者瞭、谷内田直文、山内順宗）

第6回全十勝ユースフットサルリーグ
中学2年の部優勝

☆ジュニアスポーツ努力賞（生徒部門）

○藤本彩芽さん（東1条2区）（陸中1年）

第13回十勝東北部少年剣道本別大
個人戦中学生女子の部準優勝

○陸別中学校サッカー部15名（猪狩大、

佐々木涼太、高橋雄斗、谷優太、正者
瞭、谷内田直文、山内順宗（中2）、

猪狩巧、今村拓人、板花昂太、星貴裕、
大西啓史、三浦大貴、久保昌弘、瀧澤

世莉華（中1）
第21回全道中学U-14サッカー大会

帯広（十勝）地区予選会第3位

★ジュニアスポーツ奨励賞（児童部門）

○角谷歩美（共栄第1）（陸小3年）

第22回もこと山ふきおろしまラソン
大会
小学校低学年女子2kmの部第1位



☆ジュニアスポーツ努力賞（児童部門）

○陸別剣道少年団2名（井上智奈都（小

6）、佐藤愛理（小5）
第53回北見地方剣道大会

小学生高学年の部第3位

○陸別剣道少年団3名（井上詩都奈（小

4）、佐藤美咲（小2）、上村風薫（小2）
第39回全十勝少年剣道団体優勝大会
小学生低学年女子第3位

「北海道国民保護計画」の策定について

平成16年9月、国民保護法が施行されました。国民保護とは、この法律に基づき、外国から武力攻撃を受けた場合や大規模テロ等が発生した場合に、国や道、市町村等が、住民の生命、身体及び財産を保護することをいいます。

道では、万が一、こうした事態が発生した場合、住民の避難や救護、被害の最小化などを行うための「北海道国民保護計画」を本年1月に策定しました。

計画の内容については、道のホームページでもご覧いただけます。

(<http://www.pref.hokkaido.jp/soumu/smknsji/index.htm>)

また、北海道国民保護計画を分かりやすく解説したパンフレットを作成し、各市町村に配布しておりますので、是非ご覧ください。

【問い合わせ先】北海道総務部危機対策室

危機管理グループ 電話 011-231-4111
(内線 22-593)

社会保険事務相談のお知らせ

帯広社会保険事務所では偶数月（4月、6月、8月、10月、12月、2月）の第三火曜日午前10時30分から午後3時まで「足寄町商工会」で社会保険事務相談を開催しています。

社会保険事務相談では、健康保険の資格に関する「被保険者資格取得届」や健康保険の給付に関する「高額療養費支給申請書」などの相談や事務手続きができます。

また、年金に関する相談もその場で「年金加入期間の確認」や「年金額の試算」などができるよう事務処理機器を使った相談を受けることができます。

開催日は次のとおりですので、健康保険証や年金手帳などお持ちのうえお気軽に「社会保険事務相談」を利用しましょう。

森林の伐採届出制度について

森林法により地域森林計画の対象となっている森林（林小班で管理している森林）の立木を伐採（主伐・間伐）する場合、市町村長に対して事前（伐採の90～30日前まで）に「伐採及び伐採後の造林届出書」を提出することが義務づけられています。

森林所有者自ら又は使用人を雇用して伐採を行う場合は、森林所有者が届出を提出することになります。

森林所有者から立木を買い受けて、買い受けた者が伐採を行う場合には、立木を買い受けた者が届出書を提出することになります。

なお、立木を買い受けた者が伐採を行い、伐採後の造林は森林所有者が行う場合についても立木を買い受けた者が届出書を提出することになります。この場合は伐採、伐採後の造林について双方で十分連携して計画を立てる必要があります。

地域森林計画及び陸別町森林整備計画においては、伐採跡地については、人工造林によるものの場合、伐採後2年以内に更新を図るものとしています。

森林施業計画に従って行う伐採については、事後の届出となります。ただし、あらかじめ施業計画に林小班ごとの伐採年度、造林計画等が明記されていなければなりません。計画されていない場合は伐採する前に施業計画の変更手続が必要となり、計画変更の申し出から認定されるまでに20日かかります。この場合の窓口は森林組合となります。

伐採届を未提出のまま伐採すると、違法伐採となります。また、伐採後補助事業等で造林をする場合支障が生じることもありますので、届出忘れのないようお願いいたします。

詳しくは、役場産業振興課または森林組合へお問い合わせください。

陸別町交通安全協会からのお知らせ

本別地区交通安全協会では、毎年優良運転者の表彰を行っております。陸別町交通安全協会として推薦をしていますので、15年以上無事故無違反の方は、ぜひ申請をお願いします。（通年受付しています。）

受付は、役場総務課内交通安全協会事務局で行っておりますので、免許書・印鑑を持参してください。（連絡先 役場総務課・管財防災担当 TEL 27-2141）



国民年金についてのお知らせ

○保険料額が改正されます

平成18年4月から平成19年3月までの国民年金保険料は、月280円引き上げられ、月額13,860円となります。

国民年金保険料は、平成29年度まで毎年度月額280円引き上げられ最終的に月額16,900円となる予定です。これは、年金を支える力と給付のバランスを取るためのものです。

[ご参考] 年金は、納付した額の1.7倍以上となります。基礎年金額の1/3（将来は1/2）は国庫負担です。今後も保険料の改定が予定されていますが、国庫負担があることで、若者であっても平均では納付した額の1.7倍以上の年金が受け取れる計算となります。

○ご存知ですか？学生納付特例制度！若年者納付猶予制度！

20歳以上の方は、学生であっても国民年金に加入しなければなりません。収入が少なく国民年金保険料の納付が困難な場合は、学生納付特例制度を申請すると保険料の納付が猶予されます。

また、30歳未満の方であって、本人と配偶者の収入が一定以下の場合に、申請により国民年金保険料の納付が猶予される若年者納付猶予制度があります。

これらの制度の申請を行わず、保険料が未納のままだと、不慮の事故等により障害が残ってしまった場合に、障害基礎年金等を受けることができなくなります。

手続きは簡単です。学生納付特例・若年者納付猶予制度は、陸別町役場の国民年金担当窓口へ申請してください。

※学生の方は申請の際に学生証をご持参してください。

【年金給付関係】

○平成18年度の年金額は0.3%引き下げとなります

平成17年の年平均の全国消費者物価指数が、対前年マイナス0.3%であったため、平成18年度の年金額は、前年度より0.3%少ない額となります。

満額の老齢基礎年金の場合は、月額200円ほど引き下げとなります。平成18年4月分から新しい年金額となりますので、6月の定期支払(4月及び5月分)から年金額が変更となります。

平成18年度 北海道警察官採用試験日程

		第1回試験	第2回試験
受付期間		4月4日(火)～4月21日(金)	8月8日(火)～8月25日(金)
第1次試験日		5月21日(日)	9月17日(日)
第1次試験地		札幌方面：札幌、千歳、岩見沢、滝川、小樽、室蘭、苫小牧 函館方面：函館 旭川方面：旭川、稚内 釧路方面：釧路、帯広 北見方面：北見、網走 計14試験地	
第2次試験日		6月下旬～7月中旬	10月下旬～11月上旬
第2次試験地		札幌、函館、旭川、釧路、北見	計5会場
採用予定日		【A区分】 平成19年4月以降(既に大学を卒業している者については、平成18年10月に採用される場合もある) 【B区分】 平成18年10月	【B区分】 平成19年4月以降
受験資格	学歴	【A区分】 学校教育法による大学(短期大学を除く。)等を卒業した者(平成19年3月卒業見込者を含む。) 【B区分】 A区分以外の者(学校教育法による高等学校に在学中の者を除く。)	【B区分】 A区分以外の者
	年齢	【A区分】 昭和51年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた者。 【B区分】 昭和50年10月2日から昭和63年10月1日までに生まれた者。	【B区分】 昭和51年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた者
※ 留意事項 平成18年度北海道警察官採用試験では、第1回試験でA区分(男性・女性)及びB区分(男性)第2回試験でB区分(男性・女性)を実施する。			



◀ 今年で25回を数える、お年寄りを励ますふれ愛(あい)の集いが行われました。

これは毎年町内のボランティアグループひまわり会(林妙子会長)が主催して行っているもので、会場にはお年寄りら100人以上が集まり、カラオケやひょっこり踊りを楽しみ、そばやうどんを食べながら歓談しました。

(3/1 タウンホール)



▶ 陸別保育所(園児67名)では、小利別駅から陸別駅までの約16kmを銀河線に乗車しました。列車は銀河鉄道999(スリーナイン)が描かれた999イエロー号。

これは、ふるさと銀河線陸別振興会議(小田均会長)が、4月に廃止となる銀河線を思い出にと企画したもので、なかには列車に乗るのが初めての園児もいて、あたりをきょろきょろしながら景色を眺めたりして陸別駅までの旅を楽しみました。

(3/2 小利別駅)



◀ 陸別町社会福祉協議会(大橋雪雄会長)主催の陸別町社会福祉大会が開催されました。

今回で2回目となる大会は、住み慣れた町で安心して生活できる福祉のまちづくりをめざし、地域福祉の推進に努めることを目的に開かれたもので、会場にはおよそ300人が参加。「地域で安心して生活できる福祉のまちづくり」と題して、名寄市立名寄短期大学教授の岡部和夫氏の講演や、ディスカッションなどが行われました。(3/3 タウンホール)

▶ 陸別中学校では卒業式が行われました。

卒業生の25名は、先生や父母らが見守るなか、吉村校長から一人ひとりに卒業証書が手渡されました。

そのあと在校生、卒業生ともに合唱を披露し、会場いっぱいの拍手で送られました。

(3/15 陸別中学校)



▶ 平成17年度消防庁長官表彰が3月3日行われ、池北三町行政事務組合陸別消防団副団長の渡邊滋さんが表彰されました。

渡邊さんは、昭和46年に足寄消防団に入団以来現在まで、約35年間の永きにわたり団員として活躍したことが認められたものです。(3/15 役場内)



◀ ふるさと銀河線歩くスキーの集いが12回を迎えました。こがらしマラソンと同じ日産自動車(株)陸別試験場内のコースを使って毎年行われている行事の一つで、今年は全道各地から65名が参加し8キロのコースに挑戦しました。

朝からあいにくの雪模様で、風もあり吹雪のなかでの開催となりましたが、参加者全員心地よい汗を流していました。(3/19 日産自動車(株)陸別試験場)

▶ 陸別小学校では21名が卒業式を迎えました。

会場の体育館で在校生や父母らが見守るなか、卒業生一人ひとりに嶋田校長から卒業証書が手渡されました。

在校生からは卒業生一人ひとりの思い出が発表されたあと、卒業生自ら卒業の歌として選んだコブクロの桜を合唱し、学び舎を後にしました。

(3/24 陸別小学校)



◀ 陸別保育所では、きりん組の園児25名が卒園しました。

一人ずつ卒園証書が手渡されると、将来の夢を録音したテープが会場に流され、「オリンピック選手になって金メダルを取りたい」、「看護師になって患者を治したい」などいろいろな夢がありました。

(3/27 陸別保育所)

史跡ユクエピラチャシ跡

擦文時代の話

今月号では続縄文時代の次に

くる擦文時代の話をしたいと思います。

北海道では8世紀頃（本州では奈良時代のころです）より土器文化は続縄文土器から擦文土器に変わり、擦文時代になります。

これは本州の古墳時代に使用されていた土師器（はじき）と

呼ばれる土器の影響を受けて成立したもので、擦文土器は表面に木のへらでこすった痕があるのが特徴です。

擦文土器は陸別町でも出土しています。写真上は高さ約22センチの完形の土器、写真下は擦文時代中頃の土器の破片です。残念ながら、いずれも正確な出土地点は分かっていません。

擦文文化はそれまでの続縄文文化と様々な点で違い

が認められ、よりアイヌ文化に近い様相を示すと言われて

います。住居は平面形が四角形の竪穴住居で、カマドが付きます。道内では今でもこの時代の住居跡が窪地となって残っているのを確認出来る例があります。集落はサケ・マスの遡上する川の河口付近に集中する傾向があり、陸別では確認されていません。

また、続縄文時代に始まった鉄製品の使用は、擦文時代になると増え始め、石器はほとんど見られなくなりました。

擦文時代は13世紀ごろ（本州では鎌倉時代）まで続き、やがてアイヌ文化期に入ります。このころ住居は竪穴住居

から平地式住居に変わり、土器の代わりに鉄鍋が使われるようになります。

続縄文時代から擦文時代にかけて、オホーツク海沿岸では海獣狩猟を生業とする特異な文化が栄えていました。オホーツク文化と呼ばれるこの文化ではオホーツク式土器が作られ、遺跡からは擦文文化で見られない遺物が多く出土します。

網走市モヨロ貝塚はこの時代の代表的な遺跡です。

十勝でもわずかに土器の破片が出土していますが、陸別では確認されていません。

（大島居仁・教育委員会主任）



写真 陸別町内出土の擦文土器

公民館だより

お知らせ
4月から本の貸出期間が3冊2週間となります。

◇一般図書

孤独のいいなり…長谷川 純子
お腹召しませ…浅田 次郎
「愛と死をみつめて」その後…河野 実
県庁の星…桂 望実
男は敵、女はもつと敵…山本 幸久
マザーズ・ベッド…菊池 英也
ミュンヘン…アロン・J・クライン
ダーリンはアキバ系…里中 ミナ

◇児童図書

ななみちゃん…野村 辰寿
おぼけのアッチ スーパーマーケット
のまき…角野 栄子
シャンプー王子と大あくとう…名木田 恵子
絶品らーめん魔神亭…たから しげる
くまくまくんとおやすみなさい
…いまむら あしこ
ガールちゃんといもうと…国松 エリカ
ピンクの世界ちえあそび…大江 康仁

◇CD

「シングル」
くるりくるり…ナナムジカ
Faith/Pureyes…伊藤 由奈
「アルバム」
Circle…木村 カエラ
卒業TIME“僕らのほじまり”…Wat

◇DVD&ビデオ

「DVD」
NANA — ナナ —
サマータイムマシンブルース
私の頭の中の消しゴム



銀河の森コテージ村からのお知らせ

〈3月24日現在コテージ予約状況〉

※予約は既にうまっている場合があります。最新の予約状況は直接コテージ村管理棟へご確認ください。

○余裕あります ●満室です △予約が入ってます ※予約はお早めにコテージ村管理棟へ(TEL27-4040 FAX27-4041)

4月	コテージ 予約状況	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	6人用	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	○	△	△	○
	10人用	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

5月	コテージ 予約状況	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
	6人用	○	○	●	●	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
	10人用	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

足寄から Ashoro

足寄動物化石博物館

足寄動物化石博物館の展示室観覧料が4月1日から改定されます。

化石のレプリカ作成など、さまざまな体験メニューを用意していますので、ご家族、お友達を誘ってご来館ください。(体験メニューを希望される方は事前にご連絡ください)

展示室観覧料(4月1日から)

	個人	団体(20人以上)
高校生、町外の小中学生、65歳以上	200円	150円
一般	400円	300円

開館時間 午前9時30分～午後4時30分

休館日 毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)
12月30日～1月6日

※ゴールデンウィークと学校の夏休み期間は、火曜日も開館します。

詳細 足寄動物化石博物館
電話 25-9100

本別から Honbetsu

第20回ほんべつ公園 クロスカントリー大会 のお知らせ

屋外の陸上競技のシーズン開幕を告げる大会です

4月23日(日)午前10時30分開会式

□集合場所 本別公園駐車場前芝生広場

□コース 本別公園園路に各コース設定

□区分

小学1年生～6年生 男・女(2.2*)

中学生 男子(3.2*)

中学生、高校生、一般女子(同)

高校生男子、一般男子、壮年の部(5.6*)

□参加料

一般 1,500円

小・中・高校生 500円

□申込み 4月17日(月)必着です

〒089-3334

本別町北5丁目

篠原順彦(まさひこ)

携帯090-5986-9240へ

各種大会参加料についてのお知らせ

平成18年度より、教育委員会主催の下記大会は、大会運営費にあてるため、参加料をいただくこととなりました。なお、教育委員会主催の大会以外の講習会・教室等の参加料は今までと同様に無料と致します。趣旨をご理解の上ご協力願います。

たくさんの町民の方々の参加をお待ちしております。

開催月日	行 事 名	参 加 料
5月下旬	教育長杯ソフトボール大会	1チーム当たり1,000円
7月中旬	町民パークゴルフ大会	1人当たり50円
9月上旬	町民ゲートボール大会	1人当たり50円
9月中旬	ミックスペアパークゴルフ大会	1人当たり50円
11月中旬	スポーツの集い	1人当たり50円
11月下旬	町民カローリング大会	1人当たり50円
2月中旬	町民フロアーリング大会	1人当たり50円
2月中旬	しばれパークゴルフ大会	1人当たり50円
2月中旬	冬季ミニバレー大会	1人当たり50円

上記参加料については、保険代（1日保険、スポーツ傷害保険）は含まれておりません。

わかばPG場開放のお知らせ

網掛け部分は使用可能時間です。

5月・10月の開放時間

	6:00	18:00	20:00	21:00
日曜日				
月曜日				
火曜日				
水曜日				
木曜日				
金曜日				
土曜日				

6月・9月の開放時間

	6:00	18:00	20:00	21:00
日曜日				
月曜日				
火曜日				
水曜日				
木曜日				
金曜日				
土曜日				

7月・8月の開放時間

	6:00	18:00	20:00	21:00
日曜日				
月曜日				
火曜日				
水曜日				
木曜日				
金曜日				
土曜日				

※夜間開放日以外の曜日及び雨天時については、照明はつきませんがプレーは自由と致します。

※夜間開放日以外の曜日に使用を希望される方は、20名以上の団体とし、事前に教育委員会までご連絡下さい。

(教育委員会社会体育担当：27-2123)

健康コーナー 93

☆時代は今、予防へ

介護保険制度が4月から変わります。改正の理由は

1. 要介護者、中でも要支援や要介護1の軽度要介護者の数が急増し、制度から給付される費用も年々増大していること
2. 介護保険の財源は保険料と公費（税金）です。かかる費用が増えている分、今後保険料が上昇していくことが見込まれること
3. 2025年をピークに今後高齢者は増え続けます。安定して制度を運営するためにには要介護者を増やさない、重症化させない取り組みや在宅サービスを拡充するなどの効率的な運営が必要なこと

特に今回の見直しの特徴は「介護予防」と「自立支援」の強化です。介護予防とは、出来る限り要介護状態にならないようにする、たとえば要介護状態になってもそれ以上悪化しないようにする取り組みです。介護予防をすすめていくことによつて、自立して生活する人が増える。

それが新しい介護保険制度の目標です。具体的には、要介護状態区分が以前は要支援、要介護1、2、3、4、5だったのが要支援1、2、要介護1、2、3、4、5に変わります。そして、要支援1、

2の方々には生活機能がより向上するように色々なサービスを働き掛けていきます。

当町においても平成15年度から転倒骨折予防教室を行ってきました。3か月間の教室が終わるころには、参加者の体が活発に動くようになり、健康に関する意識も高まりました。今後このような教室を通し多くの皆さんの介護予防に努めていきたいと思えます。

さて、このような教室に従事しているとつづく健康であることの有り難さを感じるものです。人にとっての幸せは「自分のことが自分でできること」かもしれない...と思えます。

健康な体は一夜にして成り立つものではありません。一日、一日を大切に、ひいては一月、一年、十年の積み重ねで成り立ちます。

時代は今、予防の視点で動いています。自分の生活の中でも良い方向に変えていくようなことを探してみませんか？

介護保険は関係ない？と思っている若い世代の方々も、自分の20年後、30年後を想像してみましょう。充実した老後はやはり健康な体からです。

【担当】
保健福祉センター
保健師 前田智美

町民文藝

陸別福寿草句会

地の鼓動高まる土手の猫柳	手に触れて色やわらかき露の臺	群れなして餌を探しゐる春の鹿	俳誌置く出窓に一枝桜挿す	祖母の膝取合ふ双子うららけし	子の握る風船赤や回転扉	川岸に残る薄氷風立てり	古里は遙かカリブの海おぼろ	日だまりに老父まどろむ春日向	壺に挿す小枝より芽の出でをりし
艶子	君代	光江	栄子	和子	有子	いさを	誠人	節子	文子

もっともっと牛乳を!!

カルシウムやミネラルが豊富に含まれていて、健康に良いとされる牛乳。

しかし、ご存知のとおりその消費量は年々落ち込み、現在は生産量の調整・減産をしなければならないという大変な状況です。

酪農業は陸別町の基幹産業のひとつです。

元気な町づくりと丈夫で健康な体づくりのために、もっともっと牛乳・乳製品を消費していきましょう!



タウンホールでの結婚祝賀会について

タウンホールでの結婚祝賀会については、生活の無理無駄を見直す運動である新生活運動の趣旨を町民みなさまにご理解いただき、会費を低価格で設定しておりますが、物価の上昇による発起人や両家の負担が増大などの事情により、下記により改正したいと存じますので、ご理解の上ご協力をお願い申し上げます。

	改正前	改正後
会費	3,500円以内	5,000円以内
参加人数	300人以内	
引出物	なし	
お色直し	できるだけ少なく	



なお、改正後の会費については、平成18年7月1日以降の結婚祝賀会からといたします。

「」厚意

「」寄付ありがとうございます

陸別町へのご寄付

- 高橋正子さん（栄町）からスポーツ振興資金として5万円が寄付されました。
- 藤谷千恵子さん（若葉町）から社会福祉資金として10万円が寄付されました。

社会福祉協議会

ボランティアセンター

（愛情銀行）へのご寄付

- 陸別町建設業協会五月会（石橋京子会長）から社会福祉協議会に3万円が寄付されました。
- 陸別カラオケクラブ（早坂勝巳会長）から社会福祉協議会

町民の「うぶごえ」

□ 匿名の方から社会福祉協議会に1万円が寄付されました。

うぶごえ

波多野稜久さん 弘基さん
まゆみさん

おくやみ

小岡孝明さん 71歳 2・11東1条1区
長屋松雄さん 88歳 3・20 和

けっこん

小澤広和さん 3・3 緑
堂本宣恵さん 緑

新規採用職員

平成18年4月1日付

保健福祉センター

保健師

菅原育子（27才）

総務課

主事

藤原 将（23才）

町の人口・世帯数 18.2.28

人口	3,035人(±0)
男	1,514人(-1)
女	1,521人(+1)
世帯数	1,425戸(-1)

友好町民の会 **372**人(前月比±0人)

ホームページアドレス <http://rikubetsu.jp/>
携帯電話用ホームページ <http://rikubetsu.jp//>

広報誌「ほっかいどう」が生まれ変わります

これまでの冊子スタイルからタブロイド判に、発行回数は年2回から年6回（奇数月発行）に増える予定です。配布については、今後は新聞折り込み等により、みなさんのご自宅へお届けします。また、より多くの皆さんに読んでいただくため、公共施設や郵便局、金融機関などにも備えることにしています。

新聞を取られていない方などで、郵送を希望される方には個別で送付もいたしますので、ご連絡ください。

新広報誌「ほっかいどう」第1号は、5月1日発行予定です。どうぞ、ご愛読ください。

【問い合わせ先】 北海道知事政策部知事室広報広聴課
広報グループ TEL 011-204-5110